

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 日本製鉄㈱ 瀬戸内製鉄所 広畑地区

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

＜地区スローガン＞

地域から信頼される製鉄所を目指して

＜目標＞

- 一、「環境事項ゼロ」、「地域苦情ゼロ」の達成
- 一、SDGs 実現に向けた取り組み推進

＜重点項目＞

1. 環境法令、コンプライアンスの徹底遵守
2. 騒音・大気・水質・粉じん・有害物質の改善対策の推進
3. 全所員が一体となった環境保全活動の実施
4. SDGs 実現に向けた省エネルギー、省資源活動の推進

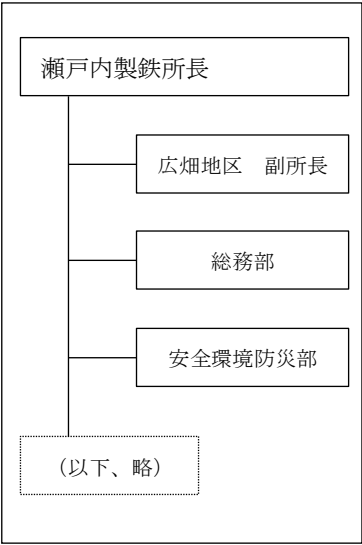
1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

2025年4月1日

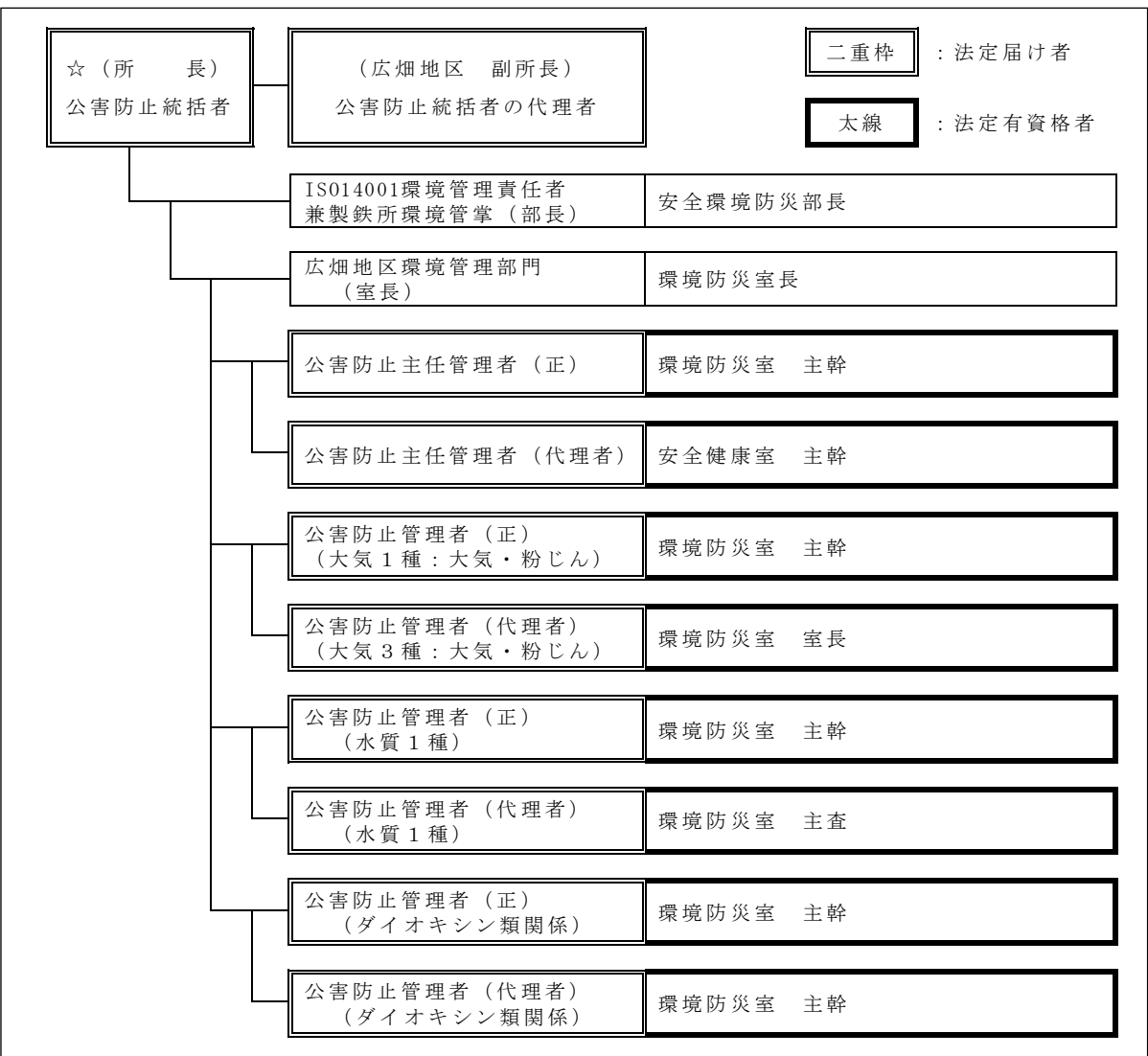
1 公害防止組織法に基づく公害防止組織

公害防止統括者	職名	瀬戸内製鉄所 所長
	氏名	
公害防止統括者の代理人	職名	副所長
	氏名	
公害防止主任管理者	職名	環境防災室 主幹
	氏名	
公害防止主任管理者の代理人	職名	安全健康室 主幹
	氏名	
公害防止管理者 (大気1種)	職名	環境防災室 主幹
	氏名	
公害防止管理者の代理人 (大気3種)	職名	環境防災室 室長
	氏名	
公害防止管理者 (水質1種)	職名	環境防災室 主幹
	氏名	
公害防止管理者の代理人 (水質1種)	職名	環境防災室 主査
	氏名	
公害防止管理者 (ダイオキシン類関係)	職名	環境防災室 主幹
	氏名	
公害防止管理者の代理人 (ダイオキシン類関係)	職名	環境防災室 主幹
	氏名	

2 瀬戸内製鉄所広畑地区
組織図(抜粋)



3 環境管理組織の体系



2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
大気環境 保全活動	(1) 粉じん対策の継続実施 ・2024 年度対策として以下を実施 ① 製鋼地区 ア) 電気炉完全移行による環境負荷軽減 : 継続 イ) 環境設備 (集じん機等) の維持管理 : 継続 ② 原料地区 ア) 環境設備の維持管理 : 継続 イ) 散水による発じん防止 : 継続 ③ 石炭ヤード ア) 水分管理による発じん防止 : 継続 イ) 防風ネットによる発じん抑制 : 継続 ④ その他全般 ア) 道路、ヤード散水による発じん防止 : 継続 イ) その他発じん抑制対策設備の維持管理 : 継続	1) これまでの対策の 継続効果発揮
	(2) 大気汚染防止法に基づくばい煙監視の体制強化 (構内他社を含む)	1) 継続実施
排水管理 強化活動	(1) 各工場毎の模擬排水停止訓練の実施 (請負会社、構内主要他社を含む)	1) 継続実施
	(2) 岸壁・護岸定期パトロールの実施	1) 継続実施
	(3) 排水監視機器の維持管理継続	1) 継続実施
	(4) 構内他社の管理指導 ① 環境管理部門による主要構内他社の環境監査実施	1) 継続実施
臭気・ 騒音対策	(1) 臭気対応 ① 構内他社への管理を徹底	1) 継続実施
	(2) 騒音対策 ① 発生源調査に基づく対策の推進	1) 継続実施
廃棄物適 正処理化	(1) 所内発生物の減容化と外部処理化の推進	1) 継続実施
	(2) 電子マニフェスト完全適用の継続	1) 継続実施
	(3) 鉱さいの利用用途拡大の企画・推進	1) 継続実施
省 CO ₂ ・省 エネ活動	(1) カーボンニュートラル社会の実現 ① 電気炉プロセスによる CO ₂ 排出削減 ② 高機能製品による CN への社会貢献	1) 継続実施
	(2) 省エネ対策工事の着実な実行	
	(3) 身近な省エネ活動の推進	1) 継続実施
ISO14001	(1) 内部監査の実施 ① 2024 年 10 月～11 月 全部門	1) 継続実施 2025 年 9～10 月予定
	(2) 本社部門による環境監査 ① 2025 年 2 月 26～28 日	1) 継続実施 2025 年 12 月予定
	(3) 外部審査会社 (JICQA) によるサーベイランス審査受審 ① 2024 年 12 月 16～17 日 →認証継続	1) 継続実施 2025 年 12 月予定
環境教育	(1) 環境月間自主学習・リメンバー活動の継続	1) 継続実施
	(2) 地区内計画に基づく年代別、階層別教育の継続	1) 継続実施
地域社会 活動	(1) 工場見学受け入れ	1) 継続実施
	(2) 製鉄所周辺クリーン活動 (正門通り、電磁門通)	1) 継続実施
	(3) 緑の町スポーツ大会	1) 継続実施
緑化対策	(1) 既存緑地の維持管理	1) 継続実施